

令和5年度 外国語 授業改善推進プラン

大田区立おなづか小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

※昨年度、授業改善推進プランを作成していないため検証不可。令和6年度より検証可。

(2) 課題

※昨年度、授業改善推進プランを作成していないため検証不可。令和6年度より検証可。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率

	令和5年度結果	令和4年度結果
第6学年	全体的に目標値を上回っている、または同程度である。「アルファベットの書き（聞く）」と「英文の完成」の設問で下回っているものが二つあり、課題がある。	

(2) 分析（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
校内平均正答率は目標値を上回っている、または同程度である問題が多い。しかし、アルファベットを書く問題については、目標値を下回っているものがある。聞き取れても正しく書けなかったり、四線上の書く位置を間違えたりする児童が多い。	校内平均正答率は目標値を上回っている、または、同程度である。しかし、英単語の知識が定着していなかったり、問題文の状況を読み取れなかったりすることから、英語で文章を正しく書くことができない児童が多い。	校内平均正答率は目標値と同程度であるが、問題文の意図と異なる回答をしている児童が多い。

3 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの活字体の大文字、小文字を正しく書くことが定着していないことが課題である。第3学年のローマ字指導、第5学年のアルファベット指導を繰り返し行ったり、英単語を書きとったりするような活動を繰り返し取り入れることで、定着を目指すことが必要である。 聞いた英文について、その内容を日本語で伝える学習を取り入れ、学習した英単語を聞き取れるようにする。 第3学年の外国語活動から英語に親しむ機会を取り入れることで、英語を聞き取る力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した英単語を使って、自分のことや友達のことについて発表させたり、図やイラストをもとに、その状況を英語で説明したりするような学習を取り入れる。 学習した英文を用いて、友達と会話する場を設定することにより、会話を理解しながら、表現できる力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことについて振り返りを行う際に、自分の生活で使える表現、使いたい表現について考えさせるなど、視点を与えることで、英語の有用性を感じられるようにし、主体的に学習に取り組む態度を育成する。 休み時間にはALTと英語でコミュニケーションを図る英語カフェを行い、全学年が外国語に主体的に取り組むことができるようにする。

